

講師プロフィール

明楽(アケラ) みゆき氏



現在版北前船プロジェクト代表
株式会社 明楽アート・オフィス 代表取締役 チェンバリスト

【経歴・活動】

大阪音楽大学附属音楽院、各地の大学講師を経て現在札幌にてフリー活動。V.マルグリシ氏（独・フライブルク音楽大学）に師事しアーティストディプロマ取得。フランス国立リヨン・オペラ座管弦楽団及びブリュッセルカルテットのメンバー、古楽集団との共演を国内外音楽祭に出演し、好評を博す。「音と言葉の絆プロジェクト」にて朗読とチェンバロ即興演奏による公演。ベルギーを始め欧州各地にてチェンバロコンサート開催。レクチャーコンサート「チェンバロを巡る文化と歴史散歩シリーズ」を全国各地で開催中。2010年6月「現代版北前船プロジェクト」を立ち上げる。各地での文化経済交流を通して、異業種間の連携と未来を見据えた地域振興を展開中。全国各地の歴史的建造物にて北前船公演「歴史と音楽のひととき」コンサートシリーズを展開中。ラジオパーソナリティーとして「チェンバリスト明楽みゆきの浪漫紀行」にて、1時間番組を毎週提供。2018年4月より大学特任教授として更なる後進の指導に邁進中。札幌市民芸術祭大賞を授賞

池永 寛明氏



大阪ガス エネルギー・文化研究センター顧問（前所長）

【経歴】

1982年大阪ガス入社後、人事勤労、業務用・産業用エネルギー部門にて中期事業計画、マーケティング、新規エネルギー事業開発に従事したのち、2008年4月日本ガス協会企画部長としてエネルギーの制度設計を担務、2011年4月大阪ガス帰社後、北東部エネルギー営業部長として東日本大震災後のエネルギー・レジリエンス対応、近畿圏部長としてまちづくり・ソーシャルデザインを通じた地域との共創活動を担務。2016年4月エネルギー・文化研究所（CEL）所長就任、2019年4月より現職。

【研究領域】

過去と現在、未来をつなぎ、内と外をつなぎ、多層的な情報を編集し、中長期ならびに技術と社会をつなぐ「文化」の方法論から、社会・経済・生活の今とこれからのあり姿を考え、発信しています。

講演会場(大阪市立住吉小学校)へのルート



最寄り駅(場所) (徒歩)

【上町線】	
神ノ木駅	4分
帝塚山4丁目駅	4分
【高野線】	
住吉東駅	11分
【阪堺線】	
東粉浜駅	7分
【南海本線】	
粉浜駅	8分
大海神社	12分